

ほくと

議会だより

2006
Vol. 6

八つの柱に花咲かせよう



学校庭のカスミザクラ

校庭カスミザクラの登録樹に よせて このサクラはカスミザクラとい い この土地に自生して 樹齢約八十年とみられる 本校が目野春小学校分校当時から児童住民に保護され かつ広く親しまれてきたものである 本施設は児童の自然保護によせる心どあわせて愛校愛郷心の涵養を熱望する昭和五十六年度PTAの総意にもとづき行つたものである

笑顔いっぱい カスミザクラの下で

3月定例会



- 平成18年度のおもな事業……………P2～3
- 委員会レポート……………P4～5
- 市長の所信表明……………P6
- 議案と審議 ピックアップ……………P7～8
- 第3回臨時会/新議員の紹介……………P9
- 一般質問に23議員……………P10～21
- 【声のひろば】7人……………P22～23
- 北杜市ウォッチング……………P24

18年度

一般会計

286億3900万円



まちづくり事業で活性化を

三月十五日から小淵沢町と合併して新北杜市となる三月定例会は、平成十八年度の当初予算を審議、可決しました。一般会計当初予算の総額は二八六億三、九〇〇万円で、この予算には旧小淵沢町の経常経費を含んでおり、十七年度の予算現在額とほぼ同額となっています。予算の財源と使いみちの内容、および十八年度のおもな事業は別表の通りです。

平成18年度のおもな事業

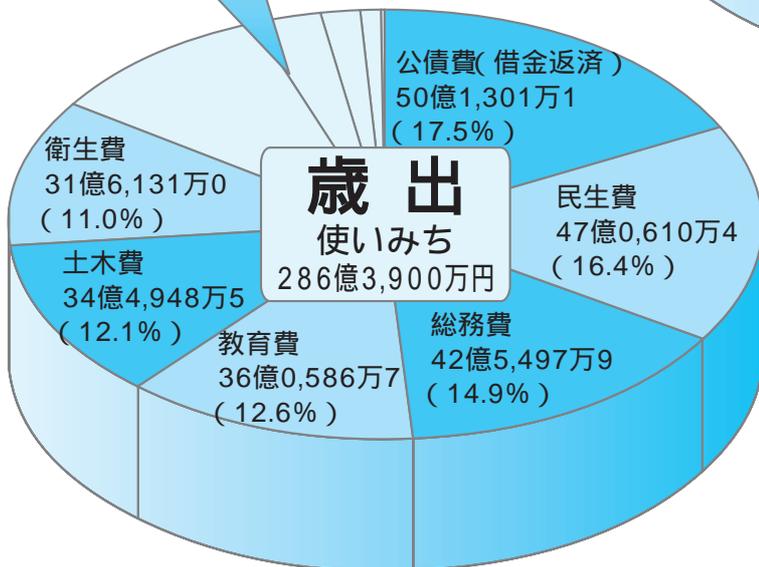
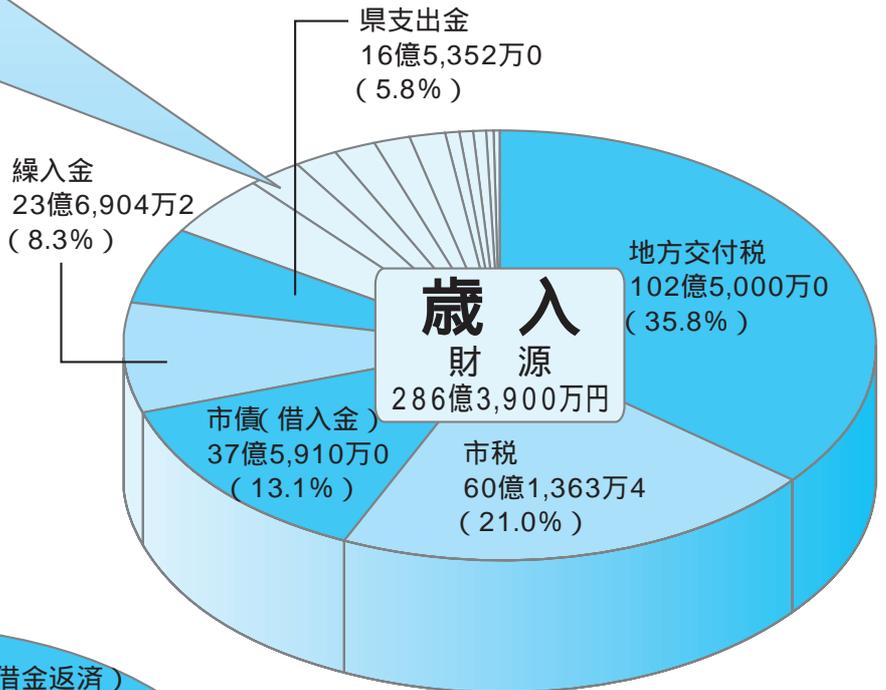
教育・文化	基盤整備
<ul style="list-style-type: none"> 地域ぐるみの学校安全体制整備 339万円 学校施設整備 6億0,831万円 武川小・高根東小の耐震補強・大規模改修 小淵沢中の改築(仮設校舎・解体工事)など 	<ul style="list-style-type: none"> 地域交通ネットワーク整備 8,085万円 道路整備 6億8,914万円 まちづくり事業(清里、長坂駅前) 4億0,632万円 団体営土地改良 5,574万円
産業・観光	環境
<ul style="list-style-type: none"> 観光振興(イベント、ウエルカムサイン等) 5,626万円 担い手農業育成 1,000万円 強い農業づくり事業 3億3,195万円 	<ul style="list-style-type: none"> 住宅用太陽光発電システム補助 400万円 中小水力発電所開発事業 1億6,528万円 里山整備事業 1,000万円 交流を深め躍進の杜づくり 1,495万円
安全安心・健康	和の杜づくり
<ul style="list-style-type: none"> 不妊治療助成 600万円 市保健計画策定 424万円 身障者療護施設建設補助 6,354万円 住民総合健診 2億5,187万円 C A T Vデジタル化対応 10億8,000万円 市営住宅建設 2億5,574万円 	<ul style="list-style-type: none"> 市の花・木・鳥制定、市民憲章制定、北杜市の歌制定など 835万円 地域委員会費 1億4,782万円

当初予算総額

510億3808万円

歳入その他	
国庫支出金	13億3,171万8 (4.7%)
地方譲与税	6億6,703万0 (2.3%)
使用料及び手数料	5億2,899万7 (1.8%)
分担金及び負担金	5億1,312万9 (1.8%)
地方消費税交付金	4億4,500万0 (1.6%)
繰越金	4億4,036万5 (1.5%)
自動車取得税交付金	1億7,400万0 (0.6%)
諸収入	1億6,774万2 (0.6%)
地方特例交付金	1億5,800万0 (0.6%)
ゴルフ場利用税交付金	9,100万0 (0.3%)
財産収入	4,202万2 (0.1%)
利子割交付金	2,200万0 (0.1%)
交通安全対策特別交付金	700万0 (0.0%)
株式譲渡所得割交付金	320万0 (0.0%)
配当割交付金	250万0 (0.0%)
寄附金	1 (0.0%)

歳出その他	
農林水産業費	28億3,010万0 (9.9%)
消防費	8億3,504万4 (2.9%)
商工費	4億8,551万5 (1.7%)
議会費	2億5,207万5 (0.9%)
予備費	3,000万0 (0.1%)
労働費	983万5 (0.0%)
災害復旧費	494万0 (0.0%)
諸支出金	73万5 (0.0%)



用語解説

市債(借入金)

事業をするための財源として、長期にわたって資金を借り入れるもの。一定期間が経過したら、税収や使用料、その他の一般財源で償還していく。

公債費(借金返済)

市が事業のために借り入れた資金(市債)に対し、必要とする元金の返済および利子の支払いに要する経費。

平成18年度 特別会計の予算	国民健康保険会計	48億5,265万円
	老人保健会計	50億0,745万円
	介護保険会計	30億8,772万円
	簡易水道事業会計	34億1,369万円
	下水道事業会計	34億9,924万円
	農業集落排水事業会計	13億2,780万円
	診療所・土地開発・ケーブルテレビ・居宅介護支援 学校・財産区の15特別会計(病院事業会計は除く)	12億1,053万円

総務常任委員会

付託された一般会計当初予算ほか一六議案を審議し、全議案を原案通り可決した。おもな質疑答弁は次のとおり。

行政区域設置条例の

一部改正

問 大泉町は二九区から一一区に再編されるが、区域割の方法は。

答 四月末に検討委員会を設置し、十八年度末の決定を目標に検討する。

職員給与条例の一部改正

問 人事評価制度が立ち遅れているのでは。

答 早期に導入を図りたい。

問 武力行使事態の災害派遣手当は憲法第九条に反するのでは。

答 基準に準じて、災害派遣職員に支払うものである。

反対意見があり、起立採決で賛成多数により可決。

十八年度一般会計予算

問 小淵沢町の基金と町債の残高は。

答 基金は約七億四、九〇〇万円、町債は約四四億八、〇〇〇万円。

情報政策費の工事費

一〇億円の内容及地域は。

答 二〇一一年の放送デジタル化に対応できない、高根町全域のCATV幹線布設替え工事費八億円、その他の地域の工事費は二億円である。

問 民間業者に委託したほうが、市負担の軽減になるのではないか。また、利用者負担の格差是正を

検討する。

文教厚生常任委員会

付託された一般会計当初予算ほか三六議案を審議し、全議案を原案通り可決した。おもな質疑答弁は次のとおり。

十七年度一般会計補正予算 (第五号)

問 アスベストの除去工事が遅れているが、完了はいつごろか。

答 高根北小は終了し、須玉小は新年度にすぐ工事を始める予定。

問 県の文化財保存事業補助二千万円と、国の史跡整備活用事業補助四千万円の内容は。

答 谷戸城跡に対する、国・県の補助である。

問 児童福祉費の八一五万円減と、老人保健費委

求める。

答 旧高根町が設置した幹線の布設替えであり、二〇一一年に対応するため市が施工する。大泉、小淵沢以外の地域は、民間業者で対応できない部分を市で行う。負担金、使用料の格差は、是正に向けて十八年度に協議、

検討する。

託金の一、八七三万円減の理由は。

答 出産祝金の減と、各種検診の未受診の分である。受診率は八五・五％である。

問 保育園の送迎バスに職員が同乗しているが、その間は園が手薄になるのでは。

答 園に残る職員で対応でき、配置は基準通りである。

問 十八年度一般会計予算

いずみ保育園で連れ

去り事件があったが、再発防止は。

答 北側と西側にフェンスを設置する。全保育園のマニユアルを作成し直し、防犯スプレー、インターホンの設置、防犯訓練も実施する。

先生といっしょに対応する。

長坂町内の小・中は県の地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業のモデル地区に指定された。

問 「原っぱ教育」で指導主事設置は。

答 教頭相当職とし、給与費、事業費を予算計上した。

問 文化財保護事業の工事費の内容は。

答 約八、〇〇〇万円で大泉町に歴史館の整備、外構、展示工事を行う。

問 須玉地区の社会体育施設のプールを廃止して、増富以外の地区は一方所のプールで運営するということだが。

答 各公民館で監視する負担も重く、施設も老朽化しているので、須玉小学校のプールを利用し、バス送迎を考えているが、今後十分協議したい。

問 囲碁美術館の内容及館長の人件費は。

答 前日本棋院次長の長森氏から囲碁に関する貴重な資料約一、二〇〇点の寄付があり、美術館カープンに向けて資料の整理を進めている。整理期



レポート

あらまし



CATVの充実を

委員会

審議の

十八年度簡易水道会計
 予算
 問 高根町の滞納繰越分の説明を。
 答 裁判になっていている分は、平成十年度から旧料金しか入っておらず、その分も含まれている。

十八年度下水道事業
 特別会計予算

問 小淵沢町の下水道の整備率は。
 答 西部の農業集落排水事業は一〇〇%。中部処理九〇%、東部は四三%で、全体では六三%である。

十八年度農業集落排水
 会計予算

問 汚泥の最終処理はどのようになるのか。
 答 農業集落排水は一般廃棄物として、北部はふるさと公苑へ、明野、須玉、武川は葦崎南部で処理、下水道事業は産業廃棄物として、水分を除き業者が処理する。

甲陵中・高等学校特別
 会計予算

問 両校の生徒数と、地

建設経済常任委員会

付託された一般会計当初予算ほか二三議案を審議し、全議案を全会一致で原案通り可決した。おもな質疑答弁は次のとおり。

十七年度一般会計補正
 予算 (第五号)

問 まつくい虫防除事業については。
 答 合併前は約六千万円の補助枠があったが、国

方交付税は。

答 高校は全体で四二六人、中学校は四月から一

二〇人となる。地方交付税は算定基礎により一般会計に入る。

図書館条例の改正

問 金田一春彦図書館の位置付けについて。

答 市内八図書館を統括し、中央館的機能を持つものとなる。

の補助が縮小され、三千万円の決定であった。国の補助基準は標高八〇〇m以上のため、樹種転換も含めて防除の奨励に努める。

問 電源立地地域対策交付金の対象地域は。農地費の工費費が二四〇万円減額になった理由は。
 答 対象地域は須玉、長坂、白州、武川地域。減額の理由は、武川で当初水路改修を計画したが、実施設計で延長が変更になり、他の地域に予算配分ができないため。

問 農地費で、市の単独事業費一、五七五万円が減額されている。要望事業を断念した支所もある

が、支所との連絡はとれているのか。
 答 減額は設計変更によるもの。本庁と支所との連携を密にしていこう。
 問 農業集落排水会計に一、八七三万円繰り出しているが、基準は。
 答 総務省の企業会計繰り出し基準により、公債費の五五%を一般会計から繰り出している。

ごとの予算計上額は。
 答 明野四〇〇万円、須玉二〇〇万円、高根四〇〇万円、長坂六〇〇万円、大泉三〇〇万円、白州四〇〇万円、武川三〇〇万円、小淵沢一〇〇万円が計上してある。
 問 八ヶ岳育苗施設の建設場所は。
 答 JAと市で、高根町村山西割に計画し、補助申請の予定。

議員・視察研修報告



最新の長坂給食センター

四月十日(月)北杜市管内の現状を把握するため、市内五力所の施設など、行政の説明を受ける中で、現地視察研修を全議員で行いました。



完成した農業集落排水施設



白倉市長の所信表明

国は財政再建に向け、強い決意で改革を実行しようとしています。これを受け、北杜市でも、行財政改革と財政健全化が急務です。まず足元を見据え、希望ある未来を子孫に残すために、行政ができることは最大限努力していこうと考えます。市民の皆様のご協力をいただきながら、ふるさとづくりに努めていきます。

市政当面の課題

財政の健全化

歳入では三位一体改革による国庫補助負担金や臨時財政対策債、地方交付税が減少する。歳出では公債費、扶助費などの増加により、財政が硬直化することが目に見えている。行財政改革を進める中で、財政健全化に努めます。

行政改革

行政改革は、北杜市の将来を見据えた北杜市再建のための行革と位置づけ、市民の目線で先の見える計画を基本姿勢とし、市民と行政の役割分担の明確化を改革の理念とした「北杜市行政改革大綱」および「行財政アクションプラン」を早急に策定します。

行政組織の再編

政策秘書課・医務課の設置、産業観光部を農政課・林政課・商工課・観光課に再編、新エネルギー担当・まちづくり担当・包括支援センター担当等を設置し、市民に分かりやすい組織の再編を行います。

小淵沢町との合併

心のつながりを基本とし、速やかな新市の一体感形成のため、最善を尽くします。

指定管理者制度の導入

四月から、九七の施設で指定管理者による管理をスタートさせ、施設運営状況を監督し、市民サービスが低下しないよう指導します。

峡北地区最終処分場

六項目にわたる基本協定は、安全・安心につながる施設建設を最優先課

題とした北杜市の要望が反映され、このなかで担保された項目について、具体的な協定締結に向けて取り組むとともに、さらなる住民の理解を得るために努力します。

また、建設地内で発掘された埋蔵文化財については、適切な保存方法を検討します。

北杜市の施策

北杜市が目指す将来都市像「人と自然が躍動する環境創造都市」の実現に向けた七つの杜づくりの柱に沿い、施策を展開します。

特に、NHK大河ドラマ「風林火山」の放映決定に伴い、ロケ誘致を要望、北杜市の名を全国にPRできる絶好のチャンスであり、NHKに協力しながら、観光振興につなげます。

市の花・木・鳥の制定

「人と自然が躍動する環境創造都市」にふさわしい市の花・木・鳥を、

指定管理者制度導入の三分一湧水館



市民から募集し、制定する考えです。市民憲章も限らない可能性を秘めた子どもたちを育む、ふるさとづくりの方向性を示す羅針盤として制定します。



小淵沢総合支所

会期日程

2月28日(火)	総務・文教厚生 建設経済
開会	
・本会議	3月9日(木)
市長施政方針	・本会議
提出議案の説明	一般質問
委員会付託	3月10日(金)
3月2日(木)	・本会議
・議会運営委員会	一般質問
3月3日(金)	3月14日(火)
・8日(木)	・本会議
・常任委員会	開会
(委員会付託議案)	

3月定例会

三月定例会は、二月二十八日から三月十四日までの十五日間の会期で開かれました。

開会初日には白倉市長が、小淵沢町を加えて八つの個性が光る杜づくりの施政方針と、提出議案についての説明を行いました。

定例会に提出された議案は、当初予算二三件をはじめ、条例三八件、補正予算二一件、その他十一件の計九三件でした。

各議案を本会議および委員会で慎重に審議し、すべての議案を原案の通り可決・承認しました。

また請願二件を審議し、議員提出の意見書一件を可決し、関係機関に送付することとしました。

議案と審議

プログラム

予算

一般会計予算

反対討論

乳幼児医療費の窓口七〇〇円自己負担をなくすること。囲碁美術館の建設一、二二三万円の必要性は疑問。学校給食センター設計費二、二五三万円は、大型給食センターになると手作りの料理が少なくなり、地元農家の作物調達も無理になるので反対。

賛成多数で可決

国保特別会計予算

介護保険特別会計予算

反対討論

国保税の引き上げに反対し、国庫補助の増額、一般会計からの繰り入れ、減免措置の拡大、応益割と応能割の比率を変え、応能割を増やすよう求める。介護保険料の三〇%



新しく設置された政策秘書課

条例(おもなもの)

行政組織条例の改正
「秘書室」を「政策秘書課」に改め、「行革調整室」の事務を「企画部」に移す。また「生活環境部」が新エネルギーに関する事務を担当する改正
全員賛成で可決

北杜市国民保護対策本部及び緊急対処事態対策本部条例の制定
国民保護協議会条例の制定

武力攻撃事態における国民保護法の制定に伴う市の措置を定めるもの。

反対討論

武力攻撃事態法は、国民を保護するものでなく、憲法9条改悪と軌を一にし、アメリカの戦争に国民、地方自治体を強制的に総動員するものであり日本を戦争をする国に作りかえるものである。

もの引き上げとともに、サービスを受けられない人が増えるので反対。

賛成多数で可決

十七年度一般会計補正予算 (第五号)
・補正額
一億八、五七〇万円
反対討論

清里の破産したホテルを四、九八三万円で購入し、解体費用一、八五〇万円の計上は無駄づかいであり反対。

賛成多数で可決

議案と審議 **ピックアップ**



男女共同参画プラン策定委員会

賛成討論

国が定めた災害時における法の整備であり、市が条例で定めるのは当然である。

賛成多数で前二条例は可決

男女共同参画推進条例の制定

北杜市の男女共同参画を推進するための基本計画を定め、推進委員会を設置すること等を定めるもの。

全員賛成で可決

国民健康保険税条例の制定

合併協定による不均一

課税を改め、十八年度から統一課税とするもの。賛成多数で可決

介護保険条例の改正

平成十八年度から二十年度までの保険料率を改正するもの。

賛成多数で可決

図書館条例の改正

「北杜市金田一春彦記念図書館」を中央館的機能を持つものと定める。全員賛成で可決

ひとり親家庭等医療費助成条例の改正

乳幼児医療費助成条例の改正

重度心身障害者医療費助成条例の改正

反対討論

県が無料化していた入院・食事代を有料化したことに追随し、自己負担額増を押し付けることに反対。

賛成多数で前三条例は可決

請願

さらなる総合的な少子化対策を求める意見書
提出を求める請願

(採択)

請願者 北杜市大泉町 原 和子

子育てへの経済的支援、子育てのための環境整備、働き方を見直す社会の構造改革など、総合的な子育て支援を求めるもの。

安全で行き届いた看護職員の配置に関する請願

(継続審査)

請願者 山梨県医療労働組合連合会

看護職員の配置基準の引き上げ、安全対策コストの保障を求めるもの。

議員提案

さらなる少子化対策を求める意見書

(要旨)

1 少子化の急速な進行により、わが国は人口減少社会に転じつつある。

2 これに歯止めをかけ、国の将来を担う子供たちの健やかな成長のため、社会全体で子育ての総合的な支援策を展開することが必要である。

3 政府に対し、次のような施策を講ずるよう強く求める。

- 1 抜本的な児童手当の拡充
- 2 出産費用等の負担の軽減
- 3 子育て世帯向けの住宅支援

4 子供を預けやすい保育システムへの転換

5 放課後児童健全育成等の充実

6 仕事と生活の調和が図れる働き方の見直し

全員賛成で可決、衆参両院議長および内閣総理大臣、厚生労働大臣に提出する。

第3回

臨時議会

(5月9日)

小淵沢選挙区選出の

5議員を迎えた議会構成

五月九日に開かれた臨時議会で、四月二十三日に行われた北杜市議会小淵沢選挙区の増員選挙で選出された五人の新議員を迎え、定数四二人（欠員一名）の新北杜市議会の構成を決定しました。

議員と、所属委員会は次の通りです。



・総務常任委員
・峡北地域広域水道
企業団議会議員

宮坂 清



・総務常任委員
・議会運営委員

茅野光一郎



・建設経済常任委員
・峡北広域行政事務
組合議員

坂本 保



・文教厚生常任委員

野中真理子



・文教厚生常任委員

坂本 重夫

同意

財産区管理会委員

進藤 泉（小淵沢町）	藤原 孝美（小淵沢町）	小松 勲（長坂町）
新海 一義（"）	中山 壽弘（"）	小林 繁雄（"）
進藤 泰勇（"）	新海 進（"）	田中 勝海（"）
小林 富義（"）	木村 浩昭（"）	小沢 恒夫（"）
名取 保允（"）	今井 文彦（"）	進藤啓太郎（小淵沢町）
浅川 豊二（"）	木下 政治（"）	進藤 泰勇（"）
佐野 潤一（"）	今井 繁幸（"）	浅川 豊二（"）

補正予算など

16件を可決・承認・同意

- 本臨時議会で、市長の専決処分報告一二案件、市の一般会計補正予算（第2号）と、小淵沢町関係の財産区管理会委員の選任を審議しました。一部の案件で反対討論がありました。賛成多数で原案の通り可決・承認・同意しました。
- ・市税条例の改正
 - ・国保条例の改正
 - ・十七年度一般会計補正予算（第6号）
 - ・十七年度国保会計補正予算（第4号）
 - ・十七年度老人保健会計補正予算（第3号）
 - ・十七年度簡易水道会計補正予算（第4号）
 - ・十七年度下水道会計補正予算（第4号）
 - ・十七年度農業集落排水会計補正予算（第4号）
 - ・十七年度白州尾白の森名水公園会計補正予算（第4号）
 - ・十七年度ケーブルテレビ会計補正予算（第4号）
 - ・十七年度温泉事業会計補正予算（第4号）
 - ・十七年度介護支援会計補正予算（第3号）
 - ・十八年度一般会計補正予算（第2号）

食育について



ほか1件

保坂多枝子議員

高根町

問 何をどのように食べるかは大切なことで、食の安全性、摂取方法には注意が必要である。食育基本法が昨年七月施行され、食に対する感覚と食を選択する知識も身につけたいところである。学校や保育園の給食において、遺伝子組み換え食品や、それを材料にした食材を使用していないか。地域でとれた野菜や米を、今後取り入れていく考えがあるか。また、どのような形で取り入れていくのか。

市長 食物アレルギーの子どもに対する対策は、単一食品を常に摂取することによる弊害と対策は、手作りのものが望ましいが、現状は、**遺伝子組み換え食品は使用していない**。市長 遺伝子組み換え食品は使用していない。JA・市の農林課や、市内のファームの統括的な峡北地域振興局農務部

と連携し、地産地消をより進めていく。献立表を配布し、家庭との話し合いで個々に対応している。標準食品構成表により、バランスの取れた食事に気を配っている。できる限り、工夫した手作りの料理を心がけている。問 虫が食っている野菜は、農薬を使っていないとか、曲がったきゅうりも自然の物という。本物を知る、教えるこ

とも食育推進上大切だと考えるが。市長 食材が大切であると思う。循環バスにBDF燃料を使用しては問 BDFを市内循環バスや保育園送迎バス、清里のピクニックバスに使用して、環境保全や観光行政として考えては。市長 CO2の削減にもなり、新エネルギービジョンの中にも掲げられているが、検討していきたい。

3月 定例会 一般質問

3月定例会では23人の議員が質問に立ちました。これはその要約です。

用語解説

BDFとは植物性廃食用油から得る軽油代替燃料。クリーン燃料として注目される。



BDF使用の公用車

情報公開と情報提供の 更なる推進を



植松一雄議員

白州町

問 活力ある市政の推進には、市民参加や協働を実践してもらう必要があるが、その前提は、市民の情報共有である。現在、市の広報誌とホームページは大きな役割を担っているが、情報量には更なる充実が求められる、ケーブルテレビでは設備の増設と、NHKや有線放送会社との早期協議で、市民が等しく視聴できることが望まれ、地域委員会や審議会の内容も公開する必要がある。

次に、関係ある地域住民に、当然周知すべき情報を一部にしか開示せず、その対応は不適切で、行政不信の要因になりかねないと、大変危惧している。二月十日の長野日報で、富士見町内の釜無川左岸に、焼却灰の溶融施設を来年度に着工、近隣の最終処分場からも焼却灰を搬入と報道された。

市長 広報ほくととは、情報内容など十分検討、ホームページは小淵沢との合併を機に、再構築整備を進めている。ケーブルテレビは民間CATVの

前向きに検討

市長 広報ほくととは、情報の増加を望む。ケーブルテレビの費用負担は、不公平感のないよう努力を。灰溶融炉の情報開示は、市長の方針と担当部

の対応が異なっていないか。市長 灰溶融炉は、どこを持って地元かの論議もあるが、全てを含め慎重に協議していく。問 環境日本一の杜づくりを柱とし、良質な水資源を誇る北杜市の、河川上流域での灰溶融炉建設は、下流域にも積極的な情報提供を強く願う。

新北杜市の市政執行上の 課題は



林 泰彦議員

白州町

問 小淵沢町との合併は、新しい市政づくりの第一歩であるが、改めて新北杜市政執行上の課題については。新市における行財政運営の効率化への取り組みをどのように進めるか。特に、編入合併する小淵沢町民への理解を深める対応が重要であるが。新市の総合計画策定の進捗状況と、今後のタイムスケジュールは。公の施設を指定管理者に移行するに当たり、そ

の実効成果を挙げるための取り組みと市民への説明の具体策は。



米作付けの確保に

隣接する長野県境に計画されている焼却灰溶融施設について、市民の安全の面から、どのように対応するのか。十八年産の水稲生産目標へ向けた市の対応策と振興方策は。

住民福祉の増進を図る

市長 行財政運営の基盤は、限られた資源を有効に活用し、住民福祉の増進を図ることである。絶えず事務事業を見直し、健全な行財政運営の確保と、行政サービス向上に努める。特に、小淵沢町民には、あらゆる機会を通じ、市政運営のあり方などを説明していきたい。今年度北杜市と小淵沢町の住民意向アンケート調査を行った。今後は、二十四人以内の委員で審議会を設置し、十二月定例議会に基本構想の提案や基本計画・実施計画策定を予定している。指定管理者に対し、業務状況の調査により、指

導・監督を適切に行う。市民へは、広報ほくとなど情報提供で理解に努める。諏訪南行政組合に対し、地域住民の安心・安全確保のため、市と住民への説明会開催を求めた。米の作付け希望の確認を行ったが、配分量に不足するため集落営農を推進する中で、米作付けの確保に努める。

行財政改革の推進は



渡邊英子議員

長坂町

ほか2件

問 県が行財政改革の中で行う農業改良普及センターの廃止・統合は、農業への依存度の高い市にとって大きな痛手である。市として技術的な専門職員を配置する必要がある。また、県や農協との連携強化は。

適正な職員数に配慮

市長 農業改良普及センターは中北農務事務所・農業農村支援課として組織されるが、今まで同様の連携を保っていききたい。

問 市職員の専門的知識の向上と、適材適所の人員配置や、適正な職員数に配慮する。また、県やJA梨北と指導強化のための調整会議を、定期的に開催できるように要請する。

子どもの安全対策は

問 子供を守る地域での取り組みは、体系化されていないことや、対応が遅れているのが現状。「子どもの安全確保に向けた条例」を検討すべきだ。また、小さいうちから、

危険に近寄らない指導や危険に遭遇した場合の対処法などの教育が必要であるが。

条例は今後の課題

市長 スクールガードリーダーの各小学校への循環指導と、通学路の地域安全マップの作成・指導、モデル地区のポランテ



問 里山環境整備事業の

里山の環境整備は

を予測回避する能力をつける防犯教育や、子どもと大人のワークショップ開催など、実践的な教育を行っていく。

中で、松くい虫被害樹も含めた倒木の処理を補助対象にできないか。また、道路に隣接する山林部分の整理について、条例等による対応ができないか。

補助対象としない

市長 現地確認作業量の増加と補助基準が難しく、現時点では倒木は補助対象としない。条例で個人財産である立ち木などを規制することは問題があり、慎重に検討する必要がある。

梅之木遺跡の保存と今後の活用は



秋山俊和議員

明野町

問 処分場建設計画を三割縮小し区域を一〇〇メートル上流に移動した。梅之木遺跡の発掘状況も進展している。遺跡面積は七万八、六〇〇平方メートルと規模も大きく、竪穴住居の数は二八四軒と他の遺跡に比べ、群を抜いて多い。掘立柱の建物の跡も三軒出土している。

つた携帯食まで出土している。平安時代になると、丘陵地帯を利用し馬を飼育、製鉄技術を持ち、焼き鏝などの鉄製品も多数出土している。



調査が進む梅之木遺跡

環状集落で保存活用している例は、長野県の尖り石遺跡があるが、全国でも数は少なく、もちろん山梨県には一つもない。教育文化、観光の視点で、テーマパーク構想を立ち上げては。

保存のあり方を検討する

市長 梅之木遺跡周辺は、平成十二年度から事前発掘調査を実施し、平成十五年度に、五千年くらい前の縄文時代の中後半

の大規模な環状集落跡が良好な状態で保存されていることが判明、平成十六年度から竪穴住居や土坑に加え、類例にない人面装飾付吊手土器が出土し、昨年末には湯沢川周辺で、縄文時代の道や水辺の作業場などが、新たに確認された。

北杜市の三者が処分場建設に関する基本協定を締結する際、市から保存できるよう配慮を求め、県も計画から除外することとして、建設計画の変更を進めている。

自然環境に大きく依存している当時の生活様式などを知る上で、教育文化の視点からも期待される。

文化財保護は重要なこと、処分場の整備についても、避けられない重要な課題で、提言いただいたテーマパーク構想も含め、今後も遺跡の保存のあり方について、検討していく考えである。

酪農試験場の悪臭対策は



秋山九一議員

長坂町

問 長坂町には県営酪農試験場があるが、長年悪臭に悩まされてきた。近年は温暖化の影響か、通行するドライバーや近隣住民からも多くの苦情があり、ますますひどくなっている様子である。

問 時代の流れで、住居地の中にこのような施設が共存するのは無理があり、移転を望む声もある。住民の健康を守るためにも、現地視察等を行い、状況確認と早急な取り組みは、調査結果を踏まえ、要望

市長 山梨県酪農試験場は、昭和二十六年に現在の長坂町長坂上条に設置され、峡北地域の酪農振興、家畜改良等、多くの実績を残し、現在に至つ

ている。試験場を発端とする悪臭に対する苦情については、夏場の風向きにより臭つという話があった。市では、周辺住民の聞き取り調査を行ったところ、悪臭発生の時期や時間帯は決まっておらず、風向きや湿度の高い日に発生、特に夏場には窓を開けられない状況もある。このため、県に確認したところ、昨春秋ごろ、地域の代表者の方々と話し合い、県は実態調査を實

施し、地域に迷惑をかけるまいよう対応していくとの回答があり、理解を求めたとのこと。県は、地域在住の方々の打ち合わせを持ち、アンケート調査の配布と、回収の依頼を行った。市としても、県に対し調査結果を踏まえ、対策を講ずるよう要望していく。



酪農試験場

富士見町焼却灰溶融炉建設計画は

ほか3件



岡野 淳議員

大泉町

問 富士見町内に焼却灰溶融炉を建設する計画がある。北杜市は不測の事態にどう対応するのか。また、なぜあらかじめ市民に説明しないのか。

問 の引き上げとなる。合併協議会では、平成十八年度からは最も税率の低い旧明野村の税率を基準にするところがあるが、一般会計からの繰り入れ増額は、適切に対応する

市長 焼却灰溶融炉建設計画について、具体的な説明を求めており、今後適切に対応したい。

市長 合併協議当初は蓄えがあつたが、その後、介護給付費や高齢者医療費の増加と、長年税額の据え置きをしてきたことで、旧明野村の税率を基準としては運営できなくなった。一般会計からの

市長 道を生かした観光行政を進める手法として有効だ。地域のリーダーが中心となり、行政もパートナーの一員として参加したい。



繰り入れは、現時点では考えていない。

市長 駅前周辺の観光不備は、景気低迷や交通体系の不備が原因だというのが、これらの問題が片付けば、観光客は戻ってくるのか

市長 駅前周辺の観光不備は、景気低迷や交通体系の不備が原因だというのが、これらの問題が片付けば、観光客は戻ってくるのか

行財政改革は



鈴木今朝和議員

長坂町

問 市行政改革推進委員会の答申を踏まえ、行政改革大綱と、改革を実施するための行財政アクションプランの策定をしたが、今後、改革を通して、どのような北杜市を作っていくのか。

答 行政区の統合再編について、まだ統合が終わっていない地区については、

北杜市消防団は七分団、その下に九八の部で組織されている。自治消防団として、市民の安全・安

心を守り、さらに活性化するために、定員はそのまま、部の統合再編は、合併して一年、総合支所は市民からの相談・要望など、市民の窓口として大切な役割を果たしている。総合支所の画一的な人員配置、支所での決裁権、予算執行権など課題もあるが、今後の総合支所のあり方は、

改革を着実に推進

市長 行政改革大綱では、一九の実施項目に

基づく八一の取り組み事項をあげ、平成十八年度から二十二年度までの五年計画としている。アクションプランについては、実施事項や目標年次、数値目標等を具体的に示し、計画的に実施していく。実施計画等の概要を市民に周知し、改革の進捗状況も毎年度公表する。

行政区の再編の基本を、百世帯を目安にし、これから再編予定の明野町、長坂町の区長会などに検討のお願いをする。



統合した保育所の跡地

指揮命令による、統率の取れた消防団組織こそ北杜市にとって必要であり、災害時に対応できる団員の確保も大切である。管外区域の検討をする中で、団員の確保も合わせ、部の統合・再編を進めていきたい。

総合支所の人員配置については、業務量等を考慮して配置する。本庁の部長と支所長は同じ権限を有し、相互に連携をとりながら事務執行している。課題を総合的に検討して、見直しを進めていく。

国保税・介護保険料の市民への説明は

ほか2件



風間利子議員

武川町

問 合併当時いわれた「負担は軽く、サービスは厚く」は、遠くへ置き去りにされ、厳しい現実のみが先行している。市民に対し、税率改正について納得できる明確な説明責任があるが、

周知に努める

市長 国民健康保険税・介護保険料は、今議会に条例改正および予算を提案したが、税率改正については市民に理解いただくよう周知に努める。C

ATVの活用や、国保会計は独自のパンフレットを作成、介護保険は事業計画概要を作成し、各家庭に配布する。

**ごみ分別収集
マニュアルの統一**

問 北杜市としてのごみ分別収集マニュアルはあるが、変更もあり、衛生委員が判断に迷うこともある。小淵沢町との合併を控え、マニュアルの作成を急ぐべきだが。

市長 ごみの分別を徹底

し、資源化を図ることは、ごみの減量化が循環型社会の推進、負担の面からも重要だ。平成十八年度に環境基本計画策定の調査経費を計上、十九年度に計画策定予定。環境基本計画と一般廃棄物処理基本計画を踏まえ、早期に北杜市共通のマニュアルを作成したい。

公民館活動を通じた地域の活性化を

問 地域自身が地域を育てるため、地域の教育力

を支える地区公民館活動の積極的な推進と、地区分館への指導・助言等の対応について。分館活動が活発に、どの分館も同じように機能する組織を編成し、積極的な公民館活動を展開する必要があるが。

**要望を把握
充実に努める**

教育長 中央館的機能を持つ生涯学習課で、学習活動、生涯学習イベントなどの普及・啓発・学習

の成果発表としての評価システムの普及などの実施や、学習プログラムを企画し、活動の場である地区公民館で展開している。

受動的な学習だけでなく、地域住民が地域課題を取り上げ、問題解決するという目標を見通し、学習・活動を行い、公民館活動を通じた地域の活性化が図れるものと考えている。

「風林火山」放映に伴う 観光施策は



利根川昇議員

高根町

ほか2件

問 県では「風林火山」放映に、総額一億一千万円もの金額を予算化している。県の計画・予算に対し、アプローチ・タイアップを計画しているか。また、北杜市独自でも口ケ地誘致活動や、観光客受け入れ態勢の整備等、一千万円を予算化しているが、具体的な計画は。

市長 県では三つの事業、大型観光キャンペーン・（仮称）風林火山博・風林火山施設整備事業を行う。北杜市での口ケ現場



改修の実現を

を多くの観光客が訪れるので、駐車場や仮設トイレ、観光案内板等の対応を予算計上した。県ともタイアップし、市の観光振興に最大限努力する。

市営温泉の 衛生管理徹底を

問 市営温泉施設は、四月からの指定管理に向け、衛生管理の状況を把握し、管理者に徹底する必要がある。塩素滅菌機の管理不行き届きや、大腸菌の大量増殖のないように管

理記録や、レジオネラ属菌検査などを徹底するよう指導すべきだが。

市長 衛生管理は温泉経営の生命線で、各指定管理者とも協定書の中で、この対応には特に注意を喚起している。指導・管理を徹底し、使用者が安心して入浴できる環境づくりに努める。

市道浅川線の 改修について

問 高根町浅川地内の、大門川にかかる橋の改修が実現に向け動き出している。橋から浅川地内に至る市道・浅川線のヘアピンカーブの改修について

市長 ヘアピンカーブの改良について、地元住民の協力も得られるので、現地調査を行い、前向きに検討する。

前向きに検討

児童・生徒の運動能力は



浅川富士夫議員

大泉町

ほか1件

問 県内の公立全小中学校の児童・生徒を対象に、体力テストが行われた。全八種目ともに全国平均より低く、二十年前の数値に対しても、低下傾向と分析。北杜市の数値はさらに低い値が示された。「原っぱ教育」の基本方針のみならず、具体的な方策は。

学力低下、運動能力低下と重なり、週休五日制のあり方が問われる。特に低学年の時間配分に改善が必要と思うが。

原っぱ教育は 将来に役立つ

市長 本市の児童・生徒の運動能力の低下は、本市の自然環境の中で、飛んだり跳ねたりが「原っぱ教育」の原点で将来役に立つと信ずる。スポーツの活動に対しても、補助を出す。

知・徳・体・食の育成を、保護者とともに指導していく。

水田の暗渠 排水工事は



とんだりはねたり

新たな国の事業が創設されたのを受け、着手できるように進める。市の土地改良事業分担金徴収条例による受益者負担を適用したい。

学童保育の改善は



ほか1件

五味良一議員

明野町



仲間がいっぱい

問 働きやすい環境で、気持ちよく子育て支援に従事してもらうため、温かい支援を考えては。学童保育に従事する職員給与、保育士や保母の資格を取得し、子どもを支援する先生たちの給料

が、今年は時給七八六円と下がるが改善の考えは。学童保育にかかわる職員全体の交流、意見交換の場を設け、現場の職員や父母の声を聞くべきだが。パソコンが貸与されているが、白州以外の施設ではメールのやり取りがされていない。意見交換・情報交換のために、有効利用すべきだが。

指導員の資質向上を図る

市長 北杜市臨時職員

取り扱い要綱に基づいた勤務条件で雇用しており、資格手当等の創設、賃金の上乗せは考えていない。各施設間で格差が生じないよう、適切な運営を行うため、指導員の意見交換の場を設け、併せて、県主催の指導員研修への参加も要請し、資質の向上を図っている。放課後児童クラブの設備については、施設間の均衡を図っている。旧式のパソコンは取り替えていきたい。

ケーブルテレビは 検討・協議する

市長 小淵沢町の番組製

作スタッフは、北杜市ケーブルテレビの番組制作に従事してもらう考え。平成十八年度に、デジタル化対応に向けた情報通信整備事業により、光ファイバー電送路整備を実施する。受信料等の格差は正は改善すべきだが、民間会社の協議対応・市の管理運営等、市民への理解が難しい課題だ。平成十八年度に検討・協議する。

学校給食センター建設は



ほか1件

中嶋 新議員

高根町

問 将来を見据えた広域的な施設の仮称「北杜市学校給食センター」が計画された。関係者に詳細な計画を周知し理解と協力を得る必要がある。そこで、今後の学校給食の基本的運営方法と事業のタイムスケジュールおよび財源の確保は。

十九年度に稼働

市長 児童・生徒数の推移は、十九年度が四千四百六人、二十三年度には三千七百四人となり将来

は二カ所の施設で補完できると判断した。関係者に計画を説明し、基本設計を十八年度末までに、十九年度中には、稼働させたい。財源は、国庫補助金、合併特例債、一般財源を見込んでいる。

問 全国では、文部科学省の食育基本法に即した推進事業が積極的に実施されている。北杜市地産

地消施設連絡会議を通じ、安心・安全な食材をさらに利用するなど、食育への取り組みは。

耐震補強は

市長 大規模化に対応して厨房等の見学コースを設けるなど顔の見える学校給食とする。食材は安心・安全を第一に地産地消の精神を大切にす。食育事業は食事の取り方など、各学校独自で方法を講じたい。

問 高根東小の耐震補強と、改修工事の時期・内容は。

市長 六月上旬に着手して十八年度末に完成予定



耐震補強を

グラウンド東側に二階建ての仮設校舎を設置する。職員室とプレイルームの位置を交換して保安上の改善や暖房施設の改修をする。

問 給食センターの建設や学校施設工事には、調整や現場対応が必要だ。学校運営と職員の適正な配置は。

十分に配慮する

教育長 新給食センターの職員数と人員配置は、現在とほぼ変わらない。高根東小、武川小の耐震、小淵沢中の改修工事には、人事異動で学習環境等に十分な配慮をして管理監督を行う。

若神子東裏線の 拡幅改良工事は



内藤 昭議員

須玉町

ほか1件

問 若神子東裏線は、須玉小学校の通学路や、住宅街の幹線道路として利用されてきたが、道路が狭くカーブが多いため、以前から改良を望む声が強く、須玉町長期計画の中に住民要望として取り入れられた。

平成十七年度に県代行で施工が決まったが、この事業に対する市の考え、地権者との交渉、住民への協力要請や取り組みと事業の完成年度は、

梅之木遺跡の保存は



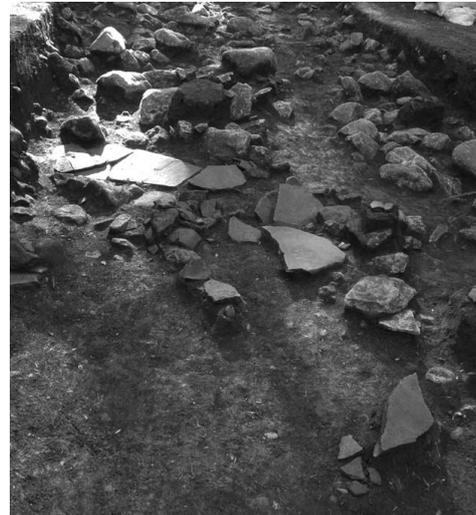
篠原珍彦議員

須玉町

問 明野町浅尾の、梅之木遺跡が新聞等で報道され、初めて縄文時代中期の道と、川辺の作業場が出土し、縄文時代の生活空間が立体的に分かる全国でも類例のない遺跡と学術的価値が高く評価されている。国指定史跡に相当するとして、保存を求め声が出ており、今後の対応が注目されている。

遺跡は、四、五〇〇年前から五、〇〇〇年前の竪穴住居一八〇軒以上、

直径約一〇〇メートルのドーナツ状に残る環状集落と、水場を結ぶ道が、一体となって発見された



学術的価値が高い梅之木遺跡

のは例がなく、教育の教材としても価値があり活用できる。保存し、後世に残すべきだ。

建設推進委員会を 立ち上げ

市長 この道路は、地域住民の強い要望により、平成十五年度に県営中山間地域総合整備事業として採択され、県が平成十七年度に、起点から約一五〇メートル区間について詳細測量を実施し、地権者の同意を得た。

計画は幅員五メートル、延長八七〇メートルであり、全路線の詳細測量が完了し、地権者の同意を

得た後に、用地買収、工事に着手する。計画路線上は住宅密集箇所もあり、今後、建設推進委員会を



待たれる拡幅工事

また、観光の目玉としても期待でき、観光ルートに組み込んで全国にPRする観光振興対策は、

遺跡範囲、処分場 計画から除外

市長 梅之木遺跡は高く評価されている。

昨年十二月に、山梨県と県環境整備事業団、北杜市の三者で、処分場建設の基本協定を締結する際、梅之木遺跡のうち、すでに学術的価値が高いと評価された範囲について

ては、市から保存できるような配慮を求め、県は処分場建設計画変更により、この遺跡範囲を処分場計画から除外することとしている。

遺跡は後世に保存することも可能と考えており、遺跡の観光資源としての活用については、国の史跡である金生遺跡の現状も踏まえ、遺跡活用の政策的効果を十分検討し、可能性について検討していきたい。

立ち上げて推進を図るべく、地元と協議していく。

地域格差をなくす
グラウンド整備と
夜間照明は

問 北杜市合併後に、グラウンドがないのは須玉町と明野町だ。地域格差をなくすのは目標の一つだが、市東部へのスポーツ公園の実施計画は、また、須玉小学校に夜間照明を望む声強いが、

市内の現存施設 利用を

市長 市内のグラウンドは三五施設、小淵沢町との合併により増えるが、経費削減、行政改革の上からも、施設の有効利用を図るため、市内に現存する施設を利用していただきたい。

須玉小学校の夜間照明は、地元理解が得られれば、設置も可能と考えている。

評価制度・指定管理者制度の 事業評価は



小林忠雄議員

須玉町

問 市長は、所信表明の中で、行財政改革を積極的に推し進める方針を述べた。
簡素で効率的な行財政システムを確立しようとする人事評価制度の導入を明らかにした。これに伴い、行政組織（人事担当）の見直し（人事課の新設）はあるか。
旧町村より引き続き採用された（継続採用）職員給与の不均衡是正の取り組みは。

人事評価制度の整備が必要
市長 職員の仕事評価制度を含む、地方公務員制度改革については、年功序列、横並び的な給与体系から、職務・職責が適切に反映される給与体系の改革を実現するため、人事評価制度の整備が必要で、導入内容や時期等について検討していく。
行政組織の見直しについては、総務部総務課に人事担当を設けてあるが、



安心な暮らしを

新年度も現体制でいく。合併前に北杜市職員給与と制度検討委員会を設置し、検討。基準に沿って調整をしている。

指定管理者制度の評価と公開は
問 指定管理者の協定期間における、事業年度報告書によるローリングチェックの部署は。
行政評価が必要だが、ガラス張りでも同時に公開することも必要だ。
制度導入成果を公表
市長 市では、常に施設の管理状況を把握することが重要で、指定管理

者と結んだ協定書に基づき、報告書の内容精査とともに、必要な指示や指導をしていく。
行政評価とは計画、実施、評価、改善の四項目を一サイクルととらえ、絶えず行政活動の改善を図る仕組み。指定管理者による施設管理評価も、同じように考え、制度導入の成果が得られると考える。公開については、原則的に行っていく。

地域委員会は

ほか2件



内田俊彦議員

須玉町

問 市民と行政を結ぶ地域委員会は、市民の目線から見ると、地域住民の意見が反映されていないように思える。特に、指定管理者制度導入については、該当施設の地域において、十分な説明、意見集約がなされていないが。
三位一体の行財政改革が進み、政府は行政の効率化・スリム化を目指し、さまざまな改革法案を打ち出している。
北杜市の保有する建物

土地、不動産の総額はいくらか。
売却可能な不動産の数および金額は。財政健全化のための財産処分・売却については。
介護保険の見直しで、多くの改正がなされた。居宅訪問介護における介護報酬不正受給に対する対応と、認知症老人など、後見人制度の対応は。介護認定者以外の保険料徴収と、介護予防効果の評価について。地域包括支援センター一カ所所

北杜市全域をカバーできるか。
市長が諮問する事項を審議
市長 地域委員会は今年度、多い地区で九回開催し、予算書と事業の内容や、地域内の課題等を検討し、地域づくりを進めている。
委員会は、市長が諮問する事項について審議し、答申する機能を有するが、指定管理者制度の導入については、期間を定め、

広く候補者を公募し、市民で構成する指定管理者候補者選定委員会を組織して、選定を行う方針であったことから、諮問に付さないこととした。
市が保有する不動産は土地が三四六万平方メートル余、建物は延べ床面積で三二万一千平方メートル余を保有。
施設活用計画の見直し、公有財産処分基準の設定、普通財産の処分について、具体的に取り組みをしていく。

不正受給は、介護報酬算定の誤りや、法令解釈がほとんどで、介護報酬は自主返還していただく。認知症老人などの後見人制度への対応、介護予防効果の評価は、地域包括支援センターが実施する業務の中で対応する。
介護保険事業計画では、平成十八年度に一カ所、十九年度以降は二カ所設置予定。

市長の政治姿勢を問う



ほか2件

中村隆一議員

長坂町

問 行財政アクションプラン策定に対し、市民および各種団体の声をどのように反映したか。住民の自主的な地域の文化、体育活動に冷たい姿勢と受け止められている。

市長 国保・介護保険料の大幅値上げは、許せないとの声もある。国に、医療の国庫負担率を計画的に元に戻すよう、求めるべきだ。

子ども医療費助成制度で、七〇〇円の自己負担があるのは北杜市だけ

病院の窓口無料化を実施し、自己負担をなくすべきたが。

行財政運営の健全性を維持

市長 行政改革推進委員会の答申を最大限に尊重、多くの意見をいただいた。大綱は、将来の行財政運営の健全性を維持するため、効率的・効果的な行財政運営の確立を目指すものである。

国保加入者にとって急激な負担となるため、激

変緩和措置として基金を取り崩して、税に代わる財源とし、三年間で正常な形に戻し、毎年、税の見直しを行う。

市は子育て支援にも力を注ぎ、福祉行政も独自に推進、単独事業や国・県の助成も受け、様々な事業を実施している。

学校給食センター整備計画は

問 合併により広域化した北杜市では、センター方式は適さない。整備計

画の見直しを求める。

多くの意見をいただき建設

市長 保護者をはじめ、学校関係者等、多くの意見をいただき、より良い学校給食センター建設をしたいと考える。

区に入っていない住民のごみ処理、防災避難所の確保は

問 地域の連帯を醸成するような施策が必要だ。泉郷のゴミ処理、防災の

避難場所確保などの協定の実施は。

防災パンフを作成

市長 市がごみ処理の対象とするのは、行政区等に加入されている方々と市の収集方法に協力をいただける方々である。泉郷については泉郷が処理することになっている。防災についてはパンフレットを作成し、防災意識の高揚に努める。

強い農業づくりの推進は



ほか2件

細田哲郎議員

白州町

問 強い農業づくり交付金支援事業の趣旨を踏まえ、基本的な支援策と今後の方向性について。

産地間競争力・経営力強化に対する支援策は。担い手の育成・確保、休耕地等の利用集積の具体策は。

生産・経営・加工技術等の開発改良による生産性の向上についての支援策は。安全・安心で効率的な流通システムの確立は。

北杜市の地域農業の構造改革と将来構想は。

各種支援策を実施

市長 生産性・品質の向上、農作業の機械化、安全の確立、優良種苗の確保等が挙げられ、経営力強化には、担い手の確保、農地利用集積の促進、新規農業者の育成確保等が挙げられる。

地産地消直売施設の設置や、乳牛の人工授精への支援等が挙げられる。

農作業の機械化対策として、農作業機械導入支援。北杜市担い手条例を

適用した就業支援、家族協定の締結支援など。

国の政策目標として、地域産品輸出促進、中央卸売市場施設整備・再編促進施設整備等があげられる。

集落営農組織を中心に、担い手育成や加工品対策に重点を置き、地域農業の構造改革を目指したい。

富士見町の焼却灰溶融施設は

問 長野県富士見町内の灰溶融化施設は、平成二

十年に供用開始の予定。施設の規模・安全性等、北杜市民に対する説明会の開催要請と、環境汚染に関する見解は。

具体的説明を求める

市長 不測の事態等に対する対応策の検討を書面で要望。市および市民に対して、建設に向けての具体的な説明を行うよう求めている。

広域農道甲斐駒ヶ岳線道路整備は

問 当初計画では平成十四年度が大幅にずれ込み、平成二十二年度完成予定幅員の狭い集落内の道路整備等の対応を要請すべきたが。

新たな農道整備を

市長 拡幅困難なところが五〇〇メートル、地元意見・要望を聞く中、対応する。県には新たな農道等の整備を要望する。

行政区について



ほか1件

鈴木孝男議員

武川町

役員報酬の見直しは
問 小淵沢の合併で、一五七の行政区を有することになる。区長報酬が他市に比べ合併前より低くなり、やる気をなくすことはないか。区長は公民館活動の主体であり、地域の環境整備を担っているが。
市長 行政区長には、市政推進をはじめ、行政文書の配布等、大変ご尽力をいただき、感謝している。

合併前の運営調整会議で基本額を年6万円と定めた。
ハイウェイ特区認定申請は
問 北杜市は山あり川ありの高原リゾート地として自然に恵まれ、別荘やセカンドハウスが増えているが、市内には何戸あるか。
多くの自治体が特区認定による、まちづくりを目標している。別荘住民はかなりの率で高速道路

を利用しているが、割引回数券を市が買い受け、その券を住民に買ってもらい、ハイウェイ特区認定申請はいかがか。
特区申請は無理
市長 別荘等は本年一月現在で八、一〇四戸。現在、中央自動車道の管理は民営化により、中日本高速道路株式会社となった。
よってハイウェイ特区の申請にはなじまず、国の特区推進室では、検討

対象外との見解だ。特区申請は無理だが、民営化議論の中で、より具体的なものが出てくるかもしれない。
乗り遅れないよう頑張る。
問 北杜市に、八一〇四戸ある別荘は住民サイドにしても、市として今後の研究課題であると考える。



利用が増える中央道

保健福祉における市立病院の運営は



千野秀一議員

大泉町

問 市立病院となった甲陽病院、塩川病院の二つの病院は、経営面では赤字であり、収益向上が求められてきたが、その要因の一つは、住民に地域の病院という意識が薄かったこと、病院側にも利用者へのサービス向上という意識が足りなかったのではないかと思われる。
国保税、介護保険料の改定に当たり、医療費、介護費の抑制は重要課題だ。市立病院になった今、健康寿命をさらに延ばす

ため、病院と市民の関係をより緊密にする施策について。
病院受付に、問診（患者のセレクト）のため、窓口でのスムーズな対応をする市民に近い保健師の配置は。
介護包括支援事業のほかに、率先して病院スタッフを市民の中に派遣する事業は。
聖域なき財政改革の中、病院の取り組みは。
両病院の関係強化策は。

二病院の連携を強化
市長 受診前の問診は、利用者が適正で効率的な医療を受けるため、医療

に精通した保健師や看護師を受付窓口配置し、来院する方の病状を把握し、診療科目へ案内することは大事。病院関係者と協議、人事・財政面にも関係するので、慎重に検討したい。
市が行う健康診断、予防接種などには、市立病院の医師を派遣。今後は、総合検診結果に基づき、地域で開催する健康相談、健康指導に講師として医師を派遣するなど、市民の健康づくりを積極的に

進める。
医療法や療養担当規則に基づき、医療技術職の配置を行っている。二病院の薬剤、医療消耗品等を一括購入し、経費削減に積極的に努める。
二つの病院が北杜市病院事業として一本化、事前協議が行われた。一本化した予算を提案するなど、連携強化に取り組んできた。緊急時の応援体制、職員の研修などの、連携強化を積極的に進めていく。

大規模太陽光発電システム 実証研究施設誘致は



小林元久議員

長坂町

問 地球温暖化防止対策に、国民の関心が高まっている。市では、本年四月より、太陽光発電装置を設置する個人住宅に、補助金を出すことになり、自然エネルギーの活用を進めている。排出物を出さないクリーンなシステムであり、地球環境保全の観点からも、極めて重要だ。

北杜市は日照時間日本一の地だが、国において大規模太陽光発電システムが、火力や水力発電と



太陽の光いっぱい

同様に、有効であるかを
実証研究する施設を、平成十八年度より計画し、

候補地を募集する。誘致活動を市が行うとのことだが、場所・理由、事業実施の場合の市の財政負担等は。

**誘致に全力で
取り組む**

市長 国レベルでの太陽光発電施設を誘致したいと考え、関係機関に要望を行ってきた。新エネルギー産業技術開発機構（NEDO）が、太陽光発電の研究を委託され、大規模電力供給用太陽光発電

系統安定化等実証研究の事業が計画されている。事業は平成十八年度から五年間で、詳細計画の策定、施設建設、実証研究を行う。容量は七千キロワット、総事業費百億円で、全額NEDOからの委託金で事業実施されるが、提案書策定経費等は、応募者の負担となる。新年度に入り、公募条件が示されたところで、内容精査の上、経費を計上する考え。

北杜市は日照時間日本

一でもあり、中央自動車道で首都圏から二時間という利便性や、八ヶ岳南麓などに多くの観光客が訪れており、立地条件に恵まれている。

候補地は、これらの条件を考慮し、長坂町夏秋地区の、農村地域等工業導入促進地域、約九ヘクタールがどうかと考えている。

全国で二十近くの地区から応募があるようで、厳しい状況だが、誘致に向け全力で取り組みたい。

明野最終処分場は

ほか1件



篠原眞清議員

明野町

問 明野最終処分場問題は、山梨県の環境行政のあり方や、市長の見識が問われる問題だ。

この問題のメインテーマである地元合意と、安全性について、改めて市長の見解を確認する。

峡北地区整備検討委員会、小野葦崎市長が白倉市長に依頼した地元合意の取り付けは、どのような方法で行うのか。

処分場の安全性について、市長が主張する廃棄物量の削減で安全性が担

保される施設ではない。見解は。

計画変更に伴う市の許可項目について示せ。

市長 平成六年に朝神八地区の条件付同意を得ていること等を前提に、環境整備事業団では、地元財産区と処分場の借地契約を締結、県では地元合意がなされているものとしており、市も同様に考えている。

他県の処分場と比較しても、トップレベルの安全性に配慮した施設と理

解する。

処分場設置にかかる本市所管の規制としては、法定公共物、赤線について北杜市法定公共物管理条例に基づく使用許可等が必要である。

また、北杜市土地開発事業等の適正化に関する条例に基づく市長の同意は、適用除外となる。

問 指定管理者制度導入や、国保税改定等の政策について、市民に説明責任を果たしていない。市政運営のあり方とし

て、一極集中型でいくのか、分散型で対応するのか。

市長 指定管理者制度については、広報誌とホームページで公表している。

国保税は、負担を少しでも軽減すべく基金を活用し、引き上げ幅を最小限に抑える。

各施設の機能を、サービスとコスト面、市民サービス維持の観点から、議論・検討を重ねる。



心も体も温まって

キョッキョッキョッキョッキョッキョ



声のひろば

koe no hiroba

北杜市議会だよりでは、毎回市民のご意見・ご要望などさまざまな『声』を掲載してまいります。今回は7名に執筆していただきました。

新生北杜市に望むこと



須玉町 土屋 武士

平成の大合併として、県内最後となる北杜市、去る三月十五日、小淵沢町が合併し、新北杜市としてスタートしたところであります。

県内一の広大な面積を有する新北杜市は、人、山、自然が豊かな地、文化等々たくさんの地域資源があり、水と緑と太陽に恵まれた市であります。

今や全国的にも少子高齢化社会であり、福祉・医療の充実や、弱者を思いやるやさしい行政が求められます。

「人と自然が躍動する環境創造都市」、誰もが住んで良かったといえる郷土北杜市を目指して、教育を軸とした人づくり、地域づくり、貧しくとも心豊かな魅力ある人づくりを、最優先した行政を強く望むものです。

また、これから十年、二十年先の見通しのもと、防災や次世代のことも考え、心豊かに暮らせる、素晴らしい環境を備えた施策を望みます。

「むねふくらむ北杜」



大泉町 金子 賢一

大泉の自然環境に魅せられ移住、当時九十四歳の母との生活でしたので、介護・医療面が心配でした。早速最寄りの大泉介護センターのお世話になり、センターの皆様には、親身に勝るお世話をして下さり、心から御礼を申し上げます。

最近の財政難から、種々の政策が戻つぽみになる心配があり、改革にあたっては、特に介護業務に携わる方々に、「やりがい」をもつて、介護を遂行できるシステムの確立を切望いたします。介護保険の重要性と共に、教育は国の将来にかかる問題で、こんにちの教育は知育偏重で、これは大きな誤りであり、徳育・体育と併せ、教育三要素改革を断行しなければなりません。

幸い、北杜市にあたっては介護、教育を実践する場として最良の環境にあり、厳しい財政下にあっても、十分全国に範となす北杜市の構築は可能と考えております。

宝の川



武川町 小林 靖始

私はフライフィッシングを楽しんでいます。市内の河川を訪れる釣り人のほとんどから、「昔は良かったんだけどねえ」という声を聞きます。

一方、全国各地にある民間経営の管理釣り場には、週末ごとに人があふれています。

北杜市は昔れ高い名水を育む地域であり、釜無川・塩川の源流域です。現在は利用価値の低い河川（釣り）を、観光資源（事業）としてとらえなおし、特区制度を導入した上で、漁協との協力を体制を築き、それぞれの河川を、利用すべき区間、環境と資源の保護を図る区間、その両方の性格を併せ持った区間などに、独自のルールを設定し、日本には例のない管理釣り場として、北杜市が運営することにより、新たな財源を生み、その経済効果を地域に還元できる「宝の川」が北杜市にはたくさんあることと思います。

ほこれる資産の継承



白州町 浅川一宏

北杜市が誕生して一年半、三月十五日には小淵沢町も加わって、北杜市の「弱み・強み」が明確になったころかと思えます。

良質の水・澄んだ空気・自然景観、いずれも全国に誇れる資産を有しています。

北杜市の守り神のように鎮座する、周囲の山々の風景は、団塊世代の一員である私の少年時代と、厳然と変わらないが、小川の山女魚（やまめ）、頭に止まる蜻蛉（とんぼ）、雀の喧騒で目覚めたノスタルジアは消失した。

今、快適なインフラ整備と引換えに、国も地方も膨大な債務超過に陥っている。

「地方分権・地方財政改革」等々、厳しい改革の中、地方に課せられた裁量部分の執行にあたっては、十年後、二十年後、市民から「無用の長物」と評されることのないよう、審議を尽くしていただきたいと願うものです。

愛国心に思うこと



高根町 小尾誠之

最近、教育基本法改正で「愛国心」の問題が取り沙汰されています。

昨年来、社会の中で前代未聞の不祥事が次々に起こり、日本人は、日本の国はと憂う声を耳にし、また、学校では国旗・国歌で愛国心が取り沙汰されています。

過日、劇的な展開の末に世界一となった「王ジャパン」ワールド・ベースボール・クラシックは、当日のテレビの視聴率の高さと、球場へ駆けつけた日本人と、球場で振られた日の丸と「ニッポン」コールを見るにつけ、自尊心と愛国心を満足させてくれました。

愛国心は人に言われて感じるものではなく、わが市が掲げる「人と自然が躍動する都市」、これこそが、地域と地域の人を愛し、スポーツ、文化を通じて、人間の交わりと、すばらしい自然に感動を覚えることが、愛国心だと思います。

もったいないもったいない



明野町 高井剛之

明野町の浅尾に、素晴らしい縄文遺跡が発見されています。

約四千年前からの縄文時代の住居跡が百数十戸、そして近くの湯沢川の岸辺には土器を焼いた跡や、作業場、そして、集落と作業場を結ぶ道路跡も見られています。

この、集落と作業場、それを結ぶ道の三点セットで残された遺跡は全国的にも例がなく、文化庁でも国の指定史跡になる要件を備えていると、高く評価しています。

さらに、この場所がオオタカの生息する豊かな自然の中にあつて、素晴らしい眺望に恵まれていることから、この遺跡とそれを含む自然環境を、北杜市民共有の財産として守り、かつ利用していくことができれば、どんなに素晴らしいことでしょう。

この場所を、山梨県のゴミ処分場にしてしまうなんて、あまりにも、もったいないことです。

北杜市に思う



長坂町 向井袈裟文

将来の北杜市を思うとき、やはり私は、緑と空間のある調和のとれた田園都市がよいと思う。緑は人間にとつて否、生あるもの全てに必要欠くべからざるものであるからである。

今地球は温暖化が進んでおり、生態系に異変が表れつつあるという。さて、視線を落として地域色豊かに、活力ある北杜市の開発を考えたいとき、大所高所から均衡ある開発が望ましい。三位一体の議論に見られように、これからの自治体は財政的にますます厳しくなると思う。北杜市においても自治の精神を生かし、市民が等しくその恵みを享受できることが大事である。

政治の根幹は市民の生活の安定向上にある。合併に際し、合併協も大変な論議を重ねられたことと思うが、種々難問を抱えての合併であり、全てはこれからである。

住民を代表し、財務に関する関与の権限がある議会は三六人の大所帯となった。選良として自らを律し、真剣に市民のための市政をお願いしたい。

光陰矢の如し、一年六月市民は注視している。



北杜市ウォッチング

HOKUTOSHI WATCHING



やねよい たがい こいのぼい



伝統を次の世代へ



わ
す
い
！
た
の
し
い
な
〜

編集後記

今春は、多くの花が一斉に咲きほころび、万物の躍動をより一層感じさせられました。

「議会だより」第六号は、小淵沢町合併前の三月定例会・

会期十五日間を報告することになりました。

今議会は、平成十八年度北杜市一般会計当初予算、国民健康保険等特別会計予算二十二案件、ならびに指定管理者の指定にかかわる条例の改正・廃止などが主な議題でした。

また、小淵沢選挙区の五人の議員を迎えての臨時議会の議題も掲載しました。

これからも、ご愛読をお願いするとともに、議会に対してのご意見をお寄せください。

議会広報編集委員会

- 委員長 中村 勝一
- 副委員長 渡邊 英子 小澤 宜夫
- 委員 五味 良一 小林 忠雄
- 内藤 昭 中嶋 新
- 鈴木今朝和 中村 隆一

議会傍聴にお出かけください

六月定例会は、平成十八年六月中旬から予定されています。議会の様子をより身近に感じることができますので、ぜひ傍聴してみてください。

(傍聴定員は四十名です。お早めにご
詳しくは、議会事務局まで)

電話〇五五一 四二 一三〇三

ほくと議会だより Vol.6

HOKUTO GIKAI DAYORI

〒408-0188 山梨県北杜市須玉町大豆生田961-1
TEL.0551-42-1303 FAX.0551-42-1128
URL: <http://www.city.hokuto.yamanashi.jp/>
E-mail: info@city.hokuto.yamanashi.jp



印刷：株式会社フューエル